

黒沢尻東地区心づもり勉強会

主催：北上市社会福祉協議会黒沢尻東支部

令和元年11月14日、黒沢尻東地区交流センターにて黒沢尻東地区心づもり勉強会が行われました。高橋副支部長、小田島自治協議会長、阿部支部長のご挨拶の後、スタッフ紹介、活用状況の説明を長寿介護課 木野課長補佐が行いました。岩手県立中部病院星野彰副院長から、知って生かそう『わたしのきぼうノート』と題して講演していただいた後、書きっこ会を行いました。参加者64名の中には、女性ばかりでなく男性の姿も見受けられました。将来の心づもりを既に考えている方、きぼうノートをご存知の方などがいらした一方で、考えていても文字にするのは難しいという方が多くいらっしゃいました。「参考になることが書いてあって必要だ」「伝えておくことも大事」「夫婦でどちらが先に逝くかわからない、考えておかないといけない」など、グループごとに分かれて話し合いました。墓じまいや延命治療について、前もって考えることの重要性がわかり、家族にも伝えたいと家族分のノートを持って帰る方もおりました。



第29回「患者の学校」

『市民で考えよう新しい病院のこと 新北上済生会病院への期待 ～地域に密着した病院に～』

令和元年11月16日、北上市のがん患者の会・ペイシェントアクティブびわの会（高橋みよ子代表）が主催する第29回「患者の学校・新北上済生会病院への期待」が生涯学習センターで行われました。参加者は会員、一般市民、医療関係者など40名でした。北上市健康増進課 高橋博信課長のご挨拶の後、2020年11月に開院予定の新北上済生会病院について、同病院の柴内一夫医師と金田学事務長が情報提供を行いました。新病院の基本方針、診療機能強化・体制充実のほか、新病院の医療体制については、一般病床が152床から114床、地域周産期母子医療センターが56床から50床へ減少、回復期リハビリテーション病床44床から60床と透析ベッド数19床から25床にそれぞれ増加になることが説明されました。その後、参加者は新病院に期待することなどについて意見を出し合いました。意見交換会では「病院そのものが市民の交流の場になってほしい」「駐車料金はどうなるの」「会計が自動支払になり不安」など、参加者から多くの声が聞かれました。



わたしのきぼうノートと ACP（人生会議）の勉強会

共催：北上医師会、北上市長寿介護課、

北上市在宅医療介護連携支援センター

令和元年 11 月 19 日、北上済生会病院において北上医師会研修会が開催され、21 名の参加がありました。地域で取り組む「人生の心づもり～幸せに歳を重ねるために～」というテーマで、岩手県立中部病院 星野彰副院長がアドバンスケアプランニングや地域で取り組む心づもりについて講演されました。「ノートを紹介することで話し合うきっかけになる」「ノートを書くことが自然になるようになれば良い」「医師と患者や家族がその人の思いを共有して、みんなで話し合っ決めていく」「その方の人生を大切にして、普段から老いとか病気のことを家族と話し合えるよう市民文化になっていけば良い」など意見交換がなされました。最後に講師から、これからも地道な活動を重ねて行って、～心づもりの街きたかみ～を目指していきたいとお話がありました。「クリニックに置きますよ」と言って頂いた先生方がおられまして、ノートを早速お届けしております。まとまった冊数をご入用の方は、北上市長寿介護課あるいは当センターまでご一報下さい。

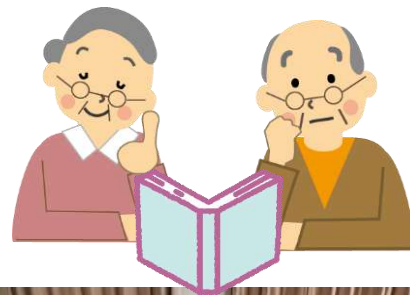


黒沢尻西地区

心づもり勉強会

主催：黒沢尻西地区交流センター

令和元年 11 月 21 日、黒沢尻西地区交流センターにて黒沢尻西地区心づもり勉強会が行われました。2 回目となる今回の参加者は、萩白百合学級・女性学級の方々 43 名でした。令和元年 3 月 22 日発行の北上市広報をご覧になった学級運営委員からの推薦で企画されました。北上市長寿介護課 住吉香奈子主任保健師が、わたしのきぼうノートの配布状況と活用の声などを説明、岩手県立中部病院 星野彰副院長がノート完成までの経過説明とノート書きっこ会の進行をされました。参加者は意欲的に取り組み、ペンの進み方は人それぞれでしたが、「備えておくのは大事」と思っている方が多く、「家族と話し合うきっかけになる」「家族と一緒に考えて共有したい」「このノートを西地区交流センターにおいてほしい」「包括支援センター本通りの活動を知ることができてよかった」などの意見が出されました。地域実習に来ていた岩手医大医学部 5 年生の皆さんも参加して下さいました。



令和元年度第2回 北上市在宅医療介護連携推進協議会

令和元年11月25日、市民交流プラザにて令和元年度第2回北上市在宅医療介護連携推進協議会が開催されました。事務局より令和元年度事業進捗状況について報告後、各職能団体の代表である方々からの意見を頂きました。「認知症」「在宅医療」「意思決定」の活動、北上市入退院支援ハンドブックの作成報告、「在宅医療・救急医療連携セミナー」への参加予定や「北上市内の入所施設を対象とした実態調査」を実施予定であることが報告されました。委員からは病院における退院支援について病院スタッフの認識を高めるべきという問題提起がありました。また、介護予防事業における多職種連携についての報告、今後の在宅医療介護連携についての提案、限られた資源という中での外国人労働力の話題などが取り上げられました。接続可能な連携構築と具体的な課題解決を図り、市民啓発を進め、市民ニーズに配慮して多職種の顔の見える関係のその先への取り組みを進めることを確認いたしました。

「入退院支援ハンドブック」



視察研修

一関市医療と介護の連携連絡会

令和元年11月26日、一関市医療と介護の連携連絡会（代表長澤茂幹事長）の方々15名が北上市在宅医療介護連携支援センターに視察研修にいらっしゃいました。視察の目的は高齢者の「生き方」を支援し、医療サービスの充実を図るため、北上市の取り組みを参考にしたいということでした。「わたしのきぼうノート」の作成経緯や「在宅医療介護連携支援センターの体制」の取り組み状況についての説明し、意見交換を行いました。ノート作成に市民が関わったことで相談先や情報などが分かりやすく記載されているという感想を頂きました。一関市は平泉町とともに、北上市よりも早く、平成24年から拠点事業に取り組んで様々な活動をしておられます。岩手の地でお互いに学び合い、一関市の強み、北上市の強みをそれぞれ活かして、市民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、本人・家族の思いに寄り添った支援ができることを願ってやみません。



第7回幸せに歳を重ねるための心づもり勉強会 ～60代からの自分らしい人生のを見つけ方編～

令和元年12月10日、さくらホール小ホールにて、第7回幸せに歳を重ねるための心づもり勉強会～60代からの自分らしい人生のを見つけ方編～が行われました。コーディネーターの岩手県立中部病院星野彰副院長から「わたしのきぼうノート」について説明して頂いた後、東北大学加齢医学研究所スマート・エイジング学際重点研究センター杉山賢明助教から、人生のしまいから「いま」を考えること、自身で作製されたカードゲームやポジティブヘルスについてのご紹介がありました。父親を急に亡くした子供に対し、父親の友人や地域の仲間が寄せ書きを綴って渡したエピソードや、お看取りの場面を演じた寸劇映像の上映が印象的でした。その後グループに分かれてカードゲームを行いました。ゲームを通して、人生のしまいから前向きに生を考えるような時間を共有できました。参加者から「楽しく話すことができた」「わたしのきぼうノートの書きづらい部分もこれなら書ける」などの感想が聞かれました。



第4回 医療介護人材育成のためのテーマ型研修会

「精神症状のとらえ方と対応を学ぶ」

「精神科訪問看護の実際と在宅支援」 主催：北上市在宅医療介護連携支援センター

令和元年12月18日、北上済生会病院にて、第4回医療介護人材育成のためのテーマ型研修会が行われました。社会医療法人花北病院斎藤悦郎院長より「精神症状の捉え方と対応」、高橋元子看護課長より「精神科訪問看護の実際と在宅支援」についてご講演頂きました。参加者は53名でした。精神疾患の特徴と症状への対応について、妄想や幻覚に対しての接し方やきちんと話を聴くための留意点などについて説明していただきました。ご本人が本当は何を言いたいのかを察することや、コミュニケーションこそ大切であり、本人を責めるのではなく共感しながら接することを学びました。また、一人一人患者の行動や特性には違いがあり、在宅に戻ってからの生活について、冗談や雑談を交えながら徐々に理解を深め、訪問看護師として家族とのパイプ役となって調整を図りながら患者を支えているというお話がありました。参加者から「精神疾患を抱えている家庭が増えてきていて、その対応に難儀していたため研修会に参加できて良かった」といった感想が聞かれました。精神疾患に理解を深め、一人で抱え込まずに一緒に考えていく地域体制となりつつあることを実感した次第です。



編集後記： 11月、12月は活動報告が多くありました。皆さまからのご意見をいただきながら今後の活動に役立てたいと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。感染症が流行しておりますが、手指衛生をして睡眠を十分にとり、身体を温めて栄養を取り、うつらない対策をして乗り切りましょう。

発行：〒024-8506

北上市花園町1丁目6-8

(北上済生会病院管理棟2階)

北上市在宅医療介護連携支援センター

TEL 0197-88-3011 FAX0197-88-3012